

評価 4 達成できている 3 ほぼ達成できている 2 あまり達成できていない 1 達成できていない

分掌	評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
教務部	基礎学力充実	基礎学力向上をめざし、授業規律の確保、欠席者・遅刻者の減少および成績不振生徒に対する指導を充実させる。	授業規律を確保して、生徒が授業に集中できる環境をつくり、基礎学力の向上のための基盤を整える。 学年部や生徒指導部と連携し、朝の遅刻指導について段階的な指導を学期ごとに行う。欠課過多者については、学年部・教科担当者との連絡を密にし、出席不良による単位不認定とならないよう指導を行う。 教科における基礎補充の実施や担任への成績資料の提供等を通じて成績不振者への指導を行うとともに「学び直しやセカンドラーニング」についても分掌・教科等と連携して状況を把握する。				
	教育課程	特色ある学校づくりに向けて、新教育課程を適切に進めていく。	新教育課程の実施による新しい科目がスタートするため、教科と連携し、3年間を見通した授業の充実を図る。				
		年間授業計画に基づいた教育課程の適切な実施と指導と評価の改善を行う。	年度当初の授業で「シラバス」を生徒に配布して授業内容や評価の観点等を伝える。iPadが新しく導入されるため、研究授業を通じて「ICT機器を用いた効果的な授業」を推進する。				
	人権教育	教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、一人一人を大切にしたい教育の推進を図る。	人権教育について工夫・改善に努めるとともに、3年間を見通した人権学習を計画して実施する。				
	図書館運営	図書館教育を通して生徒の教養の充実を図る。	図書館利用指導・読書指導の充実を図る。そのために、教科との連携、生徒の委員会活動・部活動との催事共催等を推進する。				
生徒指導部	生活指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上	遅刻指導、身だしなみ指導、授業規律への指導等を全教職員で継続的に行い、当たり前のことを当たり前にできる生徒の育成を図り、よりよい人格の形成を目指す。				
		自転車乗車マナーの向上	警察、PTA等と連携した交通安全教室及び登校指導等の実施により、交通事故の防止と自転車乗車中のマナーの向上を図り、生徒が加害者にも被害者にもならないことを目指す。				
	特別活動	自主・自律の伸長	生徒会活動及び部活動の加入率の上昇を図り、学校祭を始めとした特別活動のさらなる活性化を目指す。				
進路指導部	進路指導	進路意識向上を目指した取組の充実	進路ガイダンス・キャンパスツアーを中心に、進路意識向上のため取組を充実させ、進路意識を高める。 進学補習・就職対策補習(仮)を行い、希望進路実現のための力をつける。				
	情報の発信	家庭・生徒との連携強化	大学入試改革について、『共通テスト』や各大学の動向・現状を把握し、生徒への情報提供が的確にできるよう努める。 家庭との連携のため、各学年に進路説明会を実施し、近年の進学・就職の情報を発信し、保護者との連携強化に努める。				

評価 4 達成できている 3 ほぼ達成できている 2 あまり達成できていない 1 達成できていない

分掌	評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
保健部	健康安全教育	健康診断の教育的活用と事後指導の徹底を図る。	生徒の健康状態を把握すると同時に、生徒自身が自らの健康状態を健康相談や毎月の保健室だよりなどで理解させ、基本的な生活習慣の確立を促す。				
		生徒の心身の健康保持と安全の確保に努める。	保健委員会において保健だより等の作成を行い、自転車の安全運転等を含め、自ら健康・安全管理ができる姿勢を養うとともに自主的な活動を支援する。				
			教育相談・特別支援教育の充実とスクールカウンセラーとの連携を深める。また、必要に応じて外部の支援機関にも繋ぎ、生徒一人一人に適切な対応を行う。				
			感染症予防のための正しい知識を得させるとともに、自他の命を守る意識を向上させる。				
		校内美化の活動を推進し、環境に対する生徒の意識向上を図る。	ゴミの分別を徹底するとともに、日々の清掃活動や環境委員会の活動を充実させ、清潔で落ち着いた学習環境を作る。				
総務広報部	洛水式キャリア教育の推進	洛水式キャリア教育を推進することで、人間性を高め、社会で生きる力を育成する。	1年生に対して、SDGs等についての探究学習を行い、洛水式キャリア教育の充実と発展を図る。 2年生に対して、プロフェッショナルインタビューやインターンシップを中心とした洛水式キャリア教育の推進に努める。また、各種講演会やガイダンス、成果発表活動などの充実を図る。				
	広報活動の推進	学校の様々な取り組みや情報を発信し、地域社会に信頼される開かれた学校づくりに努める。	ホームページやメールを活用し、特色のある授業、学校行事、部活動、生徒会やHR活動など本校の魅力を中学校、保護者や地域社会に発信する。 学校公開、説明会、部活動体験、個別相談会や中学校訪問、出前授業等を開催し、中学生やその保護者に選ばれる学校を目指す。				
	ICTの推進	ICT機材の整備、効果的なICTの積極的な活用の研究	一人一台端末の整備、生徒と教職員が安心して使えるICT環境の充実を図る。 Microsoft teamsやロイロノート等を活用し、教育の質の向上へ向けた研究会・研修会を実施する。				
	PTAとの連携	組織の活性化を図り、本校と家庭との連携を深める。	文化教養講座、社会見学、交通安全指導、文化祭での取組等の行事等を通して、PTA活動の発展に寄与する。また、メール連絡の発信回数を増やし、丁寧な情報提供に努める。				
第一学年部	基本的生活習慣の確立	挨拶や時間管理を徹底し、基礎的なコミュニケーション能力を身に付け、他者への思いやりを持った、当たり前のことを当たり前にできる集団を育成する。	挨拶の励行、遅刻・欠席の防止、マナーや時間を守るなど、日々のあらゆる場面において、生徒が当たり前のことを当たり前にできるよう指導する。また、日々の学校生活を振り返る時間を作り、自分の行動が周囲に与える影響を考えさせる。				
	学習指導 キャリア教育	キャリア教育を通して人格を高め、人との触れ合いを通じて社会で生きる力を育成する。	学習活動において基礎・基本を大切に、粘り強く学習に取り組む態度を育成する。社会と繋がるプロジェクト活動等を通して社会性を身に付けさせる。				

評価 4 達成できている 3 ほぼ達成できている 2 あまり達成できていない 1 達成できていない

分掌	評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
第二学年部	基本的生活習慣の確立	基本的な生活習慣を確立し、規律ある充実した学校生活を送る。	欠席過多防止に向けて、遅刻や欠席の連絡を徹底し、時間を守る指導を行う。また、日常のあらゆる場面で当たり前のことを当たり前にできる生徒の育成に努める。 頭髪・身だしなみを整え、常に洛水高校生としての意識を保てるように指導を継続して行う。				
	進路・学習指導	生徒の力を最大限伸ばし、進路希望実現に向けての真の学力を身に付け、生涯に亘るキャリア教育を推進する。	1年次のキャリア教育をインターンシップの実践に生かし、主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。 東北研修旅行に取り組み、人間性を高めるとともに社会で生きる力を育成する。また自らの将来を展望する態度を育成する。				
第三学年部	基本的生活習慣の確立	基本的な生活習慣の確立を促し、自立した社会人となる自覚を持たせる。	挨拶の励行、遅刻・欠席の防止、時間を守る指導を継続的・段階的に行う。特に、社会における時間厳守の大切さを理解させ、習慣化させる。 日々の学校生活や就職・面接指導などの進路指導を通して、社会人となるにふさわしい身だしなみや態度を身に付けさせる。				
	進路・学習指導	進路の実現に向けて計画的な学習に取り組ませ、学力の向上を図る。 自己の適性に応じた進路を選択し、主体的に進路実現に取り組む態度を育成する。	進路目標の実現に向けて、進路指導部と連携し分野別説明会や個別面談等を実施する。 就職セミナー・面接指導・志望理由書や小論文指導・総合型選抜対策など、進路指導部と連携し生徒・保護者のニーズに応じた指導を行う。また、進学補習や学力補充等の充実を図るとともに模擬試験を積極的に受験させるなど、自分に合った進路先を見つける指導の充実を図る。				
事務部	施設・設備管理	学習環境の整備 設備・備品等の改善	安心・安全な学校づくりのため、施設担当者・技術職員を中心に施設設備の点検を実施する。 また、関係部署と連携し、学習環境の整備を図り、特にICT化について推進する。				
			長期的修繕計画を策定し、計画的な改修に努める。				
	修学支援	安心した教育機会の保障のための援護制度の周知	各種援護制度について周知を図り、生徒・保護者の経済的不安を軽減する。				
	会計管理	効果的な予算執行と適切な会計事務処理	分掌・教科と連携し、効果的な予算執行を実施する。 職員相互チェック・確認体制の定着化を計る。				